



2学期がスタート！ ～8月は特別な月。それは…～

新型コロナウイルス感染症の「第五波」が押し寄せる中、新学期が始まりました。この8月は特別な8月です。

そう、生徒会最大の行事ポプラ祭と創立120周年式典が併催される特別な月なのです。

学校の安全を守りながら行事を成功させるため、始業式の挨拶（HPに掲載）と翌日20日に、学校では放送にて生徒に呼びかけました。以下は、20日の放送で私が呼びかけた内容です。



皆さんこんにちは。昨日より新学期が始まり、今朝も昇降口で元気な皆さんの顔を見ることができてうれしかったです。昨日、始業式でもお話ししました通り、みんな自分の目標をもって充実した毎日を送ってほしいと思っています。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大がとまりません。昨日も県内では158人の感染者が報告され、大変深刻な状況になっています。しかし、来週末にはポプラ祭と120周年行事が予定されて、皆さんはその準備を頑張っているところです。

皆さんの一生の思い出に残るポプラ祭。特に3年生にとっては中心となり、120周年行事と共にやり遂げたい最後のかけがえのない全校行事です。私たち教職員も全力で支えたいと思っています。

さて、私たちが一丸となってポプラ祭の準備を進めるうえで大切なこと、それは一にも二にも日頃の生活での感染症対策を徹底することだと思います。昨日と今日の皆さんの行動を思い出してみてください。マスクをしないで、顔を寄せて話し込んでいたり、対面で食事をしていたりしていないでしょうか？ それがポプラ祭の成功と直結することを皆さん意識して行動していますか？ 別のものと考えてはいないでしょうか。昨日の始業式での立岩生徒会長の呼びかけを思い出してください。

これから10日間、ポプラ祭を成功させるために、特に皆さんへ私から伝えたい注意点をお話しします。皆さんは手元にある資料をよく読んで、確認してください（以下略）。

今朝昇降口に立つと、生徒のみんなはマスクをきちんとして登校してきました。このまま緊張感をもって本番に臨んでほしいです。

ポプラ祭いよいよ近づく ～準備も太詰め！～

いよいよポプラ祭が今週末に近づいてきました。現在全校をあげて感染症対策を徹底し、準備を進めています。先日、校長室に掲げてある保科百助初代校長先生の写真を、生徒会のみなさんが撮影しに来ました。開祭式オープニングセレモニーのビデオクリップに使うためです。私も扮装して登場する予定です。台本は演劇部長のM君の手によるもので、実によく作られていました。特に立岩生徒会長の独白部分は迫力のある名セリフなので、公開前ですが少し紹介しましょう。



『私たちは文化祭をやらずして卒業しない。僕たちは文化祭を成功させ、この学校の思い出として存在し続ける！それが今日、僕たちの蓼高120周年記念日だ！』
(裏面に続く)

秋の味覚を収穫！ ～今年も豊作？～

『校長先生、出てる出てる！』校用技師のYさんに教えられ、正面玄関先の庭園をのぞきこむと、あるある、小さな秋の使者が。小人の帽子のようにヌメリイグチが連なり、岩陰に生えていました。さっそく収穫し、家で味噌汁にして食べると、うまい！ まだ本番ではないので風味はあまりありませんでしたが、秋の到来を実感するには十分の味覚でした。



ゆく夏を想い故郷を詠む ～『蓼科学』窪田英治先生の俳句講座～



夏休みを挟んだ7月と8月の2回、元本校の先生で俳人の窪田英治先生にお越しいただき、俳句のご指導をいただきました。ど素人の私も参加しましたが、5・7・5の17字という限られた情報量に情景や情感が他人に伝わるように創作することは大変なことです。しかし、字数が限られているからこそ奥が深く、日本語という素晴らしい言語があるからこそ成立する芸術だと思いました。生徒の素晴らしい感性をもつ作品を紹介します。生徒には創作を通して日本語はもちろんのこと、地域や身の周りのことに愛着と関心をもつきっかけになるとと思います。

生徒作品

- ・ グランドや気づいたらもう熱中症
- ・ 悲しげにひぐらし鳴くぞ帰ろうか
- ・ 電線が空細く切る秋夕焼け(特選)
- ・ 秋近し眠気を誘う雨の音
- ・ 山小屋にやっと着いたよカレーの香
- ・ 草むしりグランドかたくはてしなく(特選)
- ・ 飛べホテルかがやく明日が待っている
- ・ 梅雨明けや草木にしずく輝いて
- ・ 秋出水人の心も流しゆく(特選)
- ・ 故郷の田畑広がる田舎道

困ったお話(その43) (弱肉強食の世界にお掃除を)

我々は弱肉強食の世界に生きている。なにより弱肉立場の私が言うのだから本当だ(家庭で)。文明社会のルールに従って日常生活(家庭生活を除く)を送っていると気がつきにくいですが、仕事が終わり单身先の町営職員住宅に戻ると、各階の廊下は毎晩困ったことになっている。夜間照明に寄ってきた昆虫類、それを狙い巣を張るクモ、クモを含めた虫を狙うカエル、カエルとついでにツバメの巣を狙うアオダイショウと、仁義なき食物連鎖の真ただ中に足を踏み入れるのだ。自然の営みなのでそれ自体文句はない。ただこれら一連の行為から出る残滓は誰も片付けない。特にツバメは散らかし放題で、立つ鳥あとを濁しまくっているし、アオダイショウときたら「脱皮すんなこんな所で。持って帰れ！」と叱りたい。ハロウィンのお面も放置され、ここはお化け屋敷か？

ということで住人有志の手で掃除をすることになった。蓼高側は音頭取りのT先生とM先生それに私、立中からはルーキーA先生、立小からはダンディーK校長先生の5人で廊下掃除に着手した。

5人が連携すると早い。あっという間にピカピカの廊下になった。めでたしめでたし☺



追記: 翌週帰ってきたら、蜘蛛の巣だらけの元の廊下に戻っていた。